



らくなん進都 整備推進協議会の あゆみ

平成23年5月11日

協議会の概要

組織の発展

設立年月
平成12年3月

設立目的
らくなん進都(高度集積地区)のまちづくりを、住民・企業・行政の連携(パートナーシップ)により展開することを目的として設立

会員数の増加
設立時44団体 53団体(H23.4)

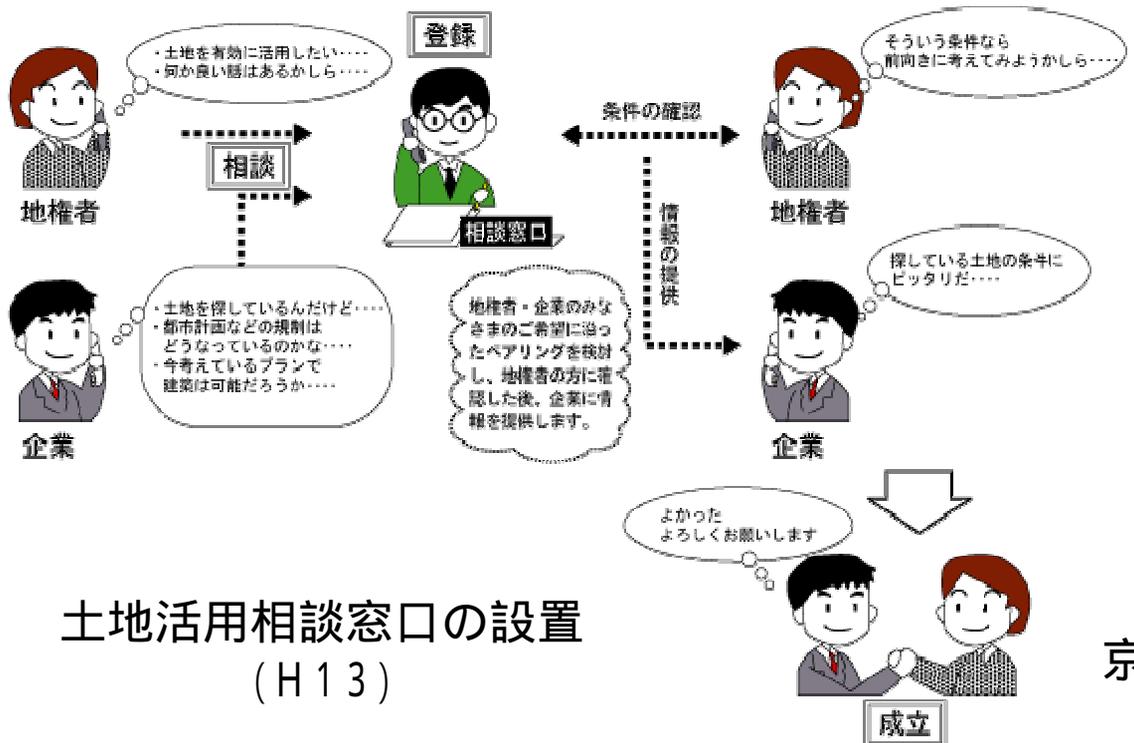
専門委員会の設立
産業集積委員会, 都市環境委員会 ほか



協議会の取組

土地利用転換の促進

土地活用委員会での検討（H12～）
土地所有者対象「街区説明会」等の開催（延べ10回）
土地所有者へのアンケート調査（H15・H20）
京都南部地域土地活用システム研究会の設置（H15）



土地活用相談窓口の設置
(H13)

金融機関

宅建業者

JA

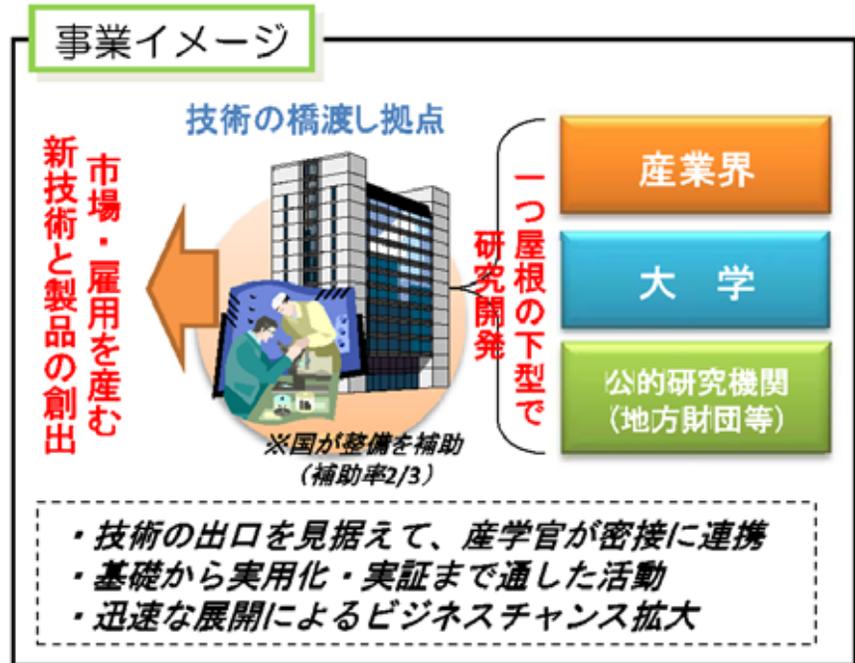
京都南部企業立地情報ネットワーク
の設立(H16)

企業集積の促進

集積促進委員会での検討（H12～）
産業支援等複合施設検討部会の設置（H16）



企業の進出（H15～H22）
企業立地促進助成制度を
活用して立地した企業19社



「技術の橋渡し拠点事業」
に京都市が応募（H23）

公共交通の充実～バス路線の充実

伏見港公園への路線バス乗り入れ検討（H13）
路線バス充実に関するアンケート調査（H14）



京阪中書島駅南側の
バスターミナル整備（H16）



伏見港公園内の
バスターミナル整備（H17）

竹田駅西口～中書島間のバスが、1系統23便

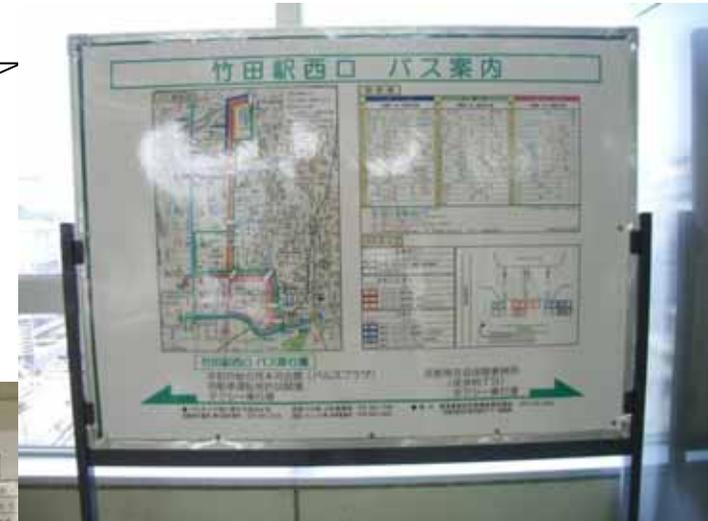
3系統57便に増便（H16）

公共交通の充実～さらなる利便性向上

公共交通等専門部会における検討（H17～）
通勤交通手段等に関するアンケート調査（H18）
ターミナル駅降車客実態調査（H19）
共同利用実験バス「Kライナー」の運行（H19）



京都駅直行バス「R E X」
実証運行開始（H22）



竹田駅西口でのバス案内・共通時刻表の掲示
（H21～）

都市基盤整備の推進～道路

油小路通・京都高速道路に関する勉強会（H17～）
油小路通歩道再整備に関する意見交換



阪神高速道路油小路線の整備
（直線区間開通：H20）
（斜久世橋区間開通：H23）



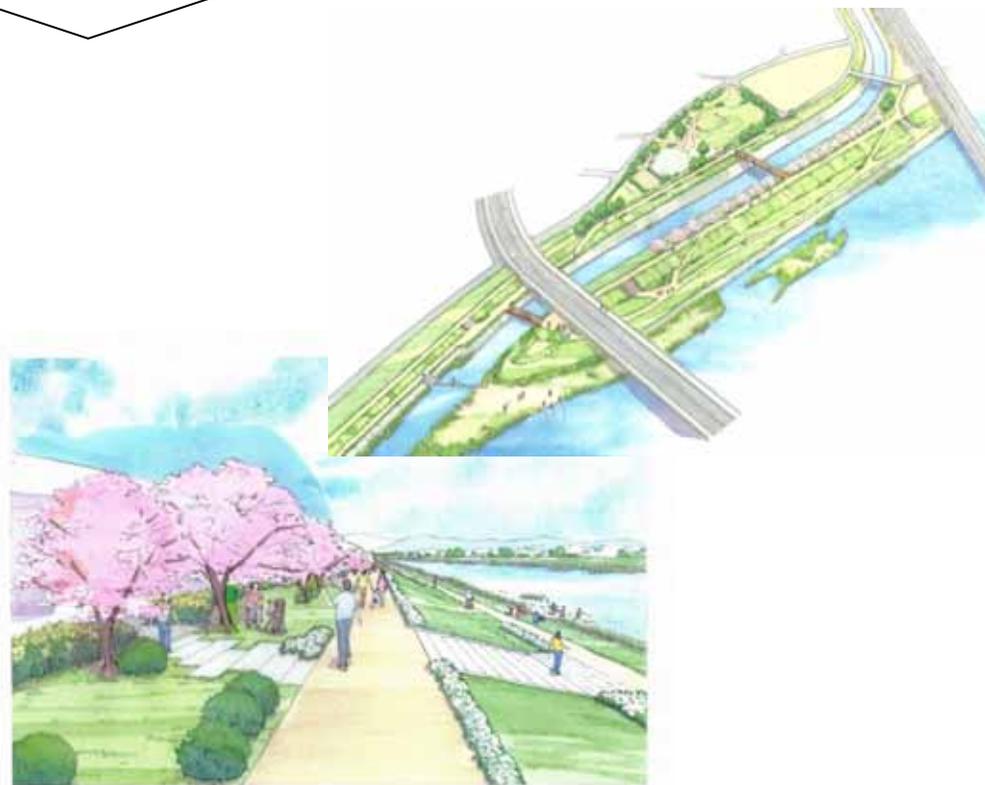
油小路通歩道の再整備（H23.3完成）

都市基盤整備の推進～河川

鴨川河川整備計画について意見提出(H21)
東高瀬川再整備に関する意見交換



東高瀬川の再整備(イメージ)



鴨川下流域の整備(イメージ)

環境まちづくり



油小路通美化活動(H12～)



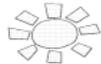
遮熱性舗装の試験施行(H20)

らくなん進都緑化助成事業のご案内

京都市では、両側緑地のまちづくりの先進地区である「らくなん進都」において、住民・働く人にとって快適な都市環境を創出し、地区の魅力を高め、環境にやさしいまちづくりを進めています。

この際、その一環として、「らくなん進都」内に自給する企業が、屋上緑地の整立・整備が促進される等において、新たに緑地の緑化などの緑化を行う際に助成する「らくなん進都緑化助成事業」の助成事業を実施します。

【実施期間】
平成23年5月9日(月)～ 先着順で受け付けます!!



緑化には、こんな効果があります!!

- ① 室温を抑制する効果
夏場の室温上昇を、効果的に抑制します。
- ② 建築物を保護する効果
太陽光の直射による建築物の劣化が抑制されます。
- ③ 安らぎを与える心理的効果
自然の緑が目の保養に効果的です。
- ④ 宣伝・露出効果
屋上緑地をアピールし、企業のイメージアップにつながります。
- ⑤ 地域社会への貢献
美しいまちづくりに貢献します。

※ 新しい事業を実施するものづくり拠点として取り組まれている企業、京都市産品を売場に積極的に取り扱う企業を優先的に取り扱います。詳しくは、京都市産業振興センター、緑化推進課、緑化推進課、緑化推進課、緑化推進課(各)にお問い合わせください。電話:075-701-1111

助成事業事例



キッズ環境フェスタ(H20)
(小学生・保護者含め約600人参加)

緑化助成事業(H21～)

地区の魅力発信



「写真で語ろう！油小路」公募写真展開催
(応募168作品, H17)



らくなん進都わくわくマップ
(8千部発行, H21)



てくてくらくなん進都ウォーキング
(767人参加, H21)



夏休みわくわくらくなん進都ものづくり見学会
(小・中学生・保護者27人参加, H22)

会員交流・情報発信



会員交流会



南部創造文化講演会



ニュースレターの発行(通算38号)
メールマガジンの配信(通算53号)



ホームページ(閲覧カウント数約2万)

これからの協議会

さらなるまちづくりへ向けて

イメージを高める
都市環境の創出

企業集積と
土地利用転換の推進

利便性の高い
公共交通体系の整備

交流活動・
環境まちづくりの推進

地区の魅力・情報の発信

